



授業概要	第1～3回	生体機能研究の基礎：生体機能計測を利用した臨床検査分野研究の進め方について講義する。（担当：岡村・濱）								
	第4～10回	循環器系検査研究演習：循環器系検査技術に関する文献を詳読し、当該分野の研究演習を行う。（担当：岡村・濱）								
	第11～18回	神経・感覚系検査研究演習：神経・感覚系検査技術に関する文献を詳読し、当該分野の研究演習を行う。（担当：岡村・濱）								
	第19～26回	呼吸代謝系検査研究演習：呼吸代謝系検査技術に関する文献を詳読し、当該分野の研究演習を行う。（担当：岡村・濱）								
	第27～28回	研究発表演習：効果的な研究発表資料の作成とプレゼンテーション法について講義する。（担当：岡村・濱）								
	第29～30回	総括：演習で使用したデータを用いて資料を作成しプレゼンテーション演習を行う。（担当：岡村・濱）								
	成績評価方法及び基準									
	プレゼンテーションで100%評価する。60点以上を合格とする。									
	教科書	Clinical Neurophysiology, 臨床生理学会誌等の英文・邦文論文を主に教材として使用する。								
	参考図書等	講義時に必要に応じて配付する。								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）										
配付する文献を事前に読んで疑問点をまとめておいてください。総括に向けて、プレゼンテーションするテーマを決めて学習してください。										
関連科目										
前科目	M316	生体機能検査学特論								
後科目	M322	特別研究Ⅰ	M323	特別研究Ⅱ						
実務家教員										
備考	原則、生体機能検査学特論の履修を前提とします。									